

平成 30 年度「ふるさとフォーラムIN米子」

基本テーマ：中海・宍道湖・大山圏域の活性化の方向と戦略を考える

中海・宍道湖・大山圏域は約 66 万人の人口集積があり、環日本海の圏域では人口は 3 位ながら、海・空・道・鉄の視点から最高の圏域と考えられます。

現在、この圏域市長会では圏域振興ビジョンとして①活力ある地域づくり(産業振興)、②訪れてみたい圏域づくり(観光振興)、③住みたくなる圏域づくり(環境の充実)、④ともに歩む圏域づくり(連携と協働)を掲げ、ビジョンの具現化に向けた取り組みがなされており、「産業振興」と「観光振興」に重点が置かれています。

この県境を跨いだ地域は多彩な観光資源に恵まれ、地政学的にも環日本海の最重要拠点という位置にあります。海路、空路、道路、鉄道など基盤整備も徐々に展開されており、東アジア、北東アジア、東南アジアなどとの交易のゲートウェイとなっています。

クラブ・セブンティは、当地で中心となってご活躍されている皆様と意見交換をして、共通課題を認識し、連帯意識を高めて、圏域の活性化と発展策の方向性、戦略を考えようとするものです。

<開催要項>

主催 : クラブ・セブンティ
後援 : 新日本海新聞社西部本社
開催日時 : 平成 30 年 10 月 16 日 (火) (午後 1 時 30 分開場)
開催場所 : 日本海新聞社西部本社日本海ふれあいホール
会費 : 第 1 部、第 2 部は無料、第 3 部意見交感会(稲田屋米子店)は参加費 5,000 円

【第 1 部 基調講演】 (午後 2 時～2 時 50 分)

趣旨説明 : 寺谷 寛氏 (新日本海新聞社西部本社主幹)

挨拶 : 中海・宍道湖・大山圏域市長会 中村勝治会長(境港市長)

基調講演 「激動期の雲伯広域連携とは一過疎化する地域協力の理念と戦略」
末次克彦氏 (クラブ・セブンティ幹事)
「略歴」米子東高、早稲田大、元日経新聞論説委員、ハーバード大ケネディスクールフェロー、ディレクター、前アジア太平洋エネルギーフォーラム代表幹事など歴任

【休憩】 10 分

【第 2 部 パネルディスカッション】 (午後 3 時分～5 時 00 分)

討論テーマ: 圏域の現状と産業振興及び将来展望

コーディネーター: 倉島君夫氏(クラブ・セブンティ会長)

「略歴」境高・新宿高、東大、元日本ロシユ取締役本部長及びロシユ・ダイアグノスティックス社長・会長、(財)日本臨床検査薬協会副会長など歴任

パネリスト

山崎 徹氏 (山陰合同銀行 代表取締役副頭取)
真野善久氏 (安来商工会議所 専務理事)
服部泰直氏 (島根大学 学長)
松村順史氏 (鳥取県経済同友会 代表幹事)
西村 誠氏 (境港海陸運送(株) 代表取締役社長)
萬治隆生氏 (クラブ・セブンティ特別会員、前東京鳥取県人会会長
前日本郵船(株)代表取締役専務)

【第 3 部意見交感会】 (午後 5 時 40 分～7 時 40 分)

場 所 稲田屋米子店

出席者 一般参加者並びに出演者(事前確認) 40 名

会費 1 人 5,000 円

【問合せ、出席連絡】

問合せ、出席のご意向は柏木雅浩(クラブ・セブンティ事務局長)までご連絡をお願いします。

電話 : 090-2624-8688 メール : kashiwagi1214@docomo.ne.jp